

性に優れた方法であるが、返済対象者が少ないことから、費用対効果の検証など調査研究していきたい。

その他の質問事項

- ・公立長生病院新A棟の整備計画について
- ・エリアメール配信の進捗状況について
- ・公共施設照明のLED化について
- ・赤目川の進捗状況と今後の見通しについて
- ・スマートインターの完成見通しについて

農業委員の削減について

深山 和夫 議員

(平成クラブ)

問 日本の農業は遊休農地の増加、担い手不足、食料自給率の低下など様々な課題が山積している。現在、農業委員は27名で構成されており、公選、学識の選任については半数にしても差し支えないと考えるが、当局の今後の指針を伺いたい。

答 農業を取り巻く環境は農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の解消等の問題が山積し、地域の農業者の代表である農業委員の役割が重要となっている。さらに農地法の改正により農地の利用状況調査の毎年実施が義務付けられ、遊休農地の解消を図る手続きが示されたことにより、業務量が増加している。このような状況の中で公選委員の定数は地域の実情に基づき必要

数を判断することが求められているので、今後は農業委員会の意見を伺いながら検討していきたい。選任委員は各農業団体や学識経験者から幅広い専門分野の意見を聞くことが重要であるので、農業協同組合、農業共済組合、土地改良区が推薦した理事又は組合員各1名、議会から推薦した学識経験者4人以内で選任している。なお、学識経験者の推薦人数は議会において決定される。

その他の質問事項

- ・学校給食の放射線量について
- ・空き家対策について

「三セク債」活用の効果

前田 正志 議員

(もばら21)

問 第三セクター等改革推進債(三セク債)の活用により、茂原市土地開発公社に関する市の債務負担が年額約3億円ほど軽減されることだが、この約3億円を今後どのように活用していくのか。

答 三セク債については50億円を30年の固定金利、利率1・964%、80億8940万円を20年の固定金利、利率1・446%で借入を行った。三セク債活用による効果については市の負担は支払利息に対する特別交

付税措置を加味し、毎年5億円程度で推移すると見込んでおり、債務負担行為償還計画Ⅲが一般財源で毎年8億円の償還を計画していたものを比較すると約3億円の負担軽減を図れると見込んでいる。軽減された毎年の負担額については扶助費等の義務的経費の増加にも対応しながら引き続き市民生活関連事業等にも配慮していきたい。

その他の質問事項

- ・圏央道開通に向けた地域情報の発信について
- ・地域の祭りへの支援について
- ・今後の姉妹都市交流について

原動機付自転車のご当地ナンバーの導入について

竹本 正明 議員

(政友会)

問 茂原市への一体感の醸成や愛着感の向上、地域振興、観光振興を図り、茂原市の広告塔として活用できる原動機付自転車に、ゆるキャラ「もばりん」を取り込んだご当地ナンバー(仮称もばりんナンバー)を導入してはどうか。

答 各自治体のマスコットキャラクター等を入れた原動機付自転車の課税標識については11月1日現在、県内で6市3町が導入している。本市の原動機付自転車の登録台数は12月5日現在、原付1種(50cc以下)が4

005台、原付2種(51cc~125cc)が764台の計4769台である。市のマスコットキャラクターである「もばりん」をデザインした課税標識は市内外に茂原市をPRする動く広告塔になると考えられるので、導入については前向きに検討していきたい。

その他の質問事項

- ・今年度の一般質問における提案提言のその後の取り組みについて
- ・子育て支援の一環として学校給食費の軽減について
- ・廃止する土地開発公社の土地の処分や活用の方針について

子ども・子育て支援について

田丸 たけ子 議員

(公明党)

問 社会保障と税の一体改革の一環で社会や家庭で安心の子育て支援のための子育て関連三法が成立した。本市における子ども・子育て会議の設置時期や事業計画の策定予定及び新規事業に伴う職員の配置や事務事業経費等予算化について伺う。

答 今後の子ども・子育て支援施策の基本となる事業計画の策定については子ども・子育て会議を設置し、審議することを想定している。現在、国から委員構成は示されていないが、子育て当事者や支援者、一般市民、福祉・教育、保健医療関係者などを委員とした会議を早期に設

置したいと考えている。今後は平成25年度に子ども・子育て会議を設置し、その中で調査項目を検討した上でニーズ調査の実施・分析を行い、平成26年度に計画策定、条例制定を考えている。予算については新規の事務事業として要求していきたい。

その他の質問事項

- ・行政のスリム化について
- ・歳入の確保について
- ・小中一貫教育について
- ・介護支援について
- ・市営住宅の整備について

観光行政について

平 ゆき子 議員

(日本共産党茂原市議団)

問 茂原公園は市民の憩いの場であり観光の拠点でもあるが、案内板や表示板はボロボロ、弁天湖の渡り橋は通行止め、何年も放置状態。景観を意識した整備が必要である。市は茂原公園のあり方をどう認識し、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 茂原公園は日本桜名所100選に選ばれ、多くの桜のほか梅やつつじなど四季折々の花や木々が市民を楽しませてくれている。桜まつりでも多くの市民や観光客が訪れており、本市の貴重な観光資源であるとともに、市民の憩いの場となっていると考えている。今後も快適で安全な市民生活のために、十分活用されるよう環境整備を図るとともに、